児童期

年少のこども。日本の法律では、さまざまな定義がある。学校教育法では小学校に通学するものを学齢児童と定めている。これに対し中学校に通学する者を「学齢生徒」、高等学校の場合を「生徒」、大学の場合を「学生」という。また、かつて児童が安価な労働力として使用されてきた歴史的な背景から、「児童は、これを酷使してはならない」と定めていて（日本国憲法第27条３項）、この規定を根拠に、労働基準法では、およそ満15歳まで、児童福祉法などでは、満18歳未満のものまでを児童とする。道路交通法では、6歳以上13歳未満としている。

出典：総合百科事典ポプラディア「児童」

ヒトの成長の段階における、幼児期と青年期の間。一般に6歳から12歳くらいで、多くの国ではこの時期に義務教育を受けるので、学童期とよぶこともある。からだの発達は安定し、急激に成長する思春期の準備時期でもあり、乳歯が永久歯にかわる。また、知力ののびがとくにいちじるしく、物事を客観的にみられるようになる。社会性が身につくのもこのころで、おおぜいの仲間と集団をつくり活動したりする。

児童期の中期には、集団意識が強くなり、おとなの命令より仲間との約束をたいせつにする。徒党を組んで、遊んだりいたずらをしたりすることから、ギャング・エイジとよばれる。

出典：総合百科事典ポプラディア「児童期」

第四条　この法律で、児童とは、満十八歳に満たない者をいい、児童を左のように分ける。

一　乳児　満一歳に満たない者

二　幼児　満一歳から、小学校就学の始期に達するまでの者

三　少年　小学校就学の始期から、満十八歳に達するまでの者

第四十一条　児童養護施設は、保護者のない児童（乳児を除く。ただし、安定した生活環境の確保その他の理由により特に必要のある場合には、乳児を含む。以下この条において同じ。）、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設とする。

出典：児童福祉法（昭和二十二年法律第百六十四号）

エリクソンが提唱した「心理社会的発達理論（psychosocial development）」には、「乳児期」「幼児前期」「幼児後期」「学童期」「青年期」「成人期」「壮年期」「老年期」の8つの発達段階がありました。

この8つの発達段階にはそれぞれ「心理社会的危機」が存在し、人間はその心理社会的危機を乗り越えることで力を身につけることができるというのがエリクソンの発達理論です。

出典：ロボ団ブログ. エリクソンの発達段階に応じた年齢別発達課題とは. https://robo-done.com/blog/2021/01/honbu\_erikson/#:~:text=エリクソンが提唱した8,発達段階がありました%E3%80%82

「学童期（5歳〜）」

心理社会的危機：勤勉性vs劣等感

得られる要素：有能感

小学校に通って、学び始めさまざまなことを習得する時期です。様々な課題に取り組むことで、自分に能力があることを自覚し、「有能感」を獲得することができます。

ですが、失敗したり、苦手なことでつまずいたりすることも多くあります。その際に周りの大人がフォローせずに、ただ出来ないことを咎めるだけでは、子どもは「自分には無理だ」と劣等感を抱いてしまいます。慢心しないよう出来たことを過度に褒め過ぎず、出来ないことを劣等感も抱かせないように適切にフォローし、本人が克服出来るよう導くことが大切です。

出典：ロボ団ブログ. エリクソンの発達段階に応じた年齢別発達課題とは. https://robo-done.com/blog/2021/01/honbu\_erikson/#:~:text=エリクソンが提唱した8,発達段階がありました%E3%80%82

意見

児童、児童期を指す対象が様々であることが分かった。図書館における児童サービスを考えても、確かに一つ一つのサービスで、対象年齢は変わってくる。全てひっくるめて児童サービスといい、充実化を図っているのではないか。

チャットG P T